

奄美野生生物保護センター  
ニュースレター

# 奄美の風だより



蒸し暑い日が続きますね。少しでも過ごしやすいように緑のカーテンやすだれなどをうまく利用していきましょう。

さて、生きものが出てくるおもしろいシマ唄をいくつか見つけたのでみなさんにご紹介したいと思います。

ㇿ イジュの木の花や あん美らさ咲きゆり 吾もイジュなとて 真白咲かそ

「イジュの木の花は、あんなにきれいに咲いている。私もイジュになって、心を真白に生きていこう」、という意味だそうです。梅雨のどんよりとした空の下、真白な花を咲かせるイジュが人の心をとらえたのでしょうかね。

シマ唄は、男女が掛け合いながら唄うことが多かったようなので、恋の唄が多いです。

ㇿ うらうらぬ がちんぐわや（浦々の ガチンは）  
うまち みれいば うきゃがりゆり（火を見たら浮き上がってくる）  
しまじまんう ねせんきゃや（集落集落の 青年たちは）  
みわらべ みちれいば うきゃがりゆり（乙女を見たら浮き上がってくる）

むかし小舟の上で松の木片をたいて、その明かりでガチン（魚の名前）を引き寄せたそうです。その様子を男女の情景に例えたおもしろい唄ですね。

生きものが出てくるシマ唄はまだまだあるそうなので、みなさんも探してみたいかでしょうか。シマ唄の魅力を再発見できると思います。

（吉田）

# 今の時期に見られる動植物



オキナワテイカカズラ

九州南部以南に分布。山地の林内や林縁に生える常緑藤木。花は白色またはのち淡黄色となる。



キバナノセッコク

四国、九州、奄美大島、徳之島、沖縄島に分布。常緑広葉樹林の樹幹や岩上に生える着生ラン。茎は20~50cmで垂れ下がる。



ツマグロヒョウモン

本州・南西諸島に分布。奄美では周年見ることができる。



エリグロアジサシ

奄美群島には夏鳥として渡来する。岩場などのくぼみなどで繁殖し、渡来数は年によって変化する。目から頭の後ろにかけて黒い線がある。



イシガケチョウ



ルリモンホソバ



コシロモンドクガ



ジャコウアゲハ

## 今季の一枚 「いもむし」

今の時期はいろいろなむしが飛び回っています。その中で、地面や木をがんばってはっているいもむしたちがいます。いもむしとはチョウやガの幼虫の総称です。

見た目から嫌われることの多い生きものですが、よくよく観察すると、種類によって色や形がさまざまでおもしろい特徴を見つけることができます。みなさまも敬遠せず、試しにじっくり観察してみてくださいはいかがでしょうか？





# 奄美群島市町村だより

自分たちの地域の魅力を再発見し、また他の地域のことを知り、奄美の自然について理解を深めましょう。

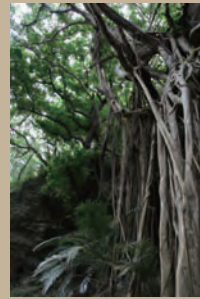


今回は  
**伊仙町**  
です



犬田布岬

伊仙町は、徳之島の南部に位置する総面積 62.7 km<sup>2</sup>、人口は約 7000 人の長寿・子宝の町です。



伊仙町の木【ガジュマル】

伊仙町の大部分を占める琉球石灰岩の台地に好んで生える植物で、この木にはケンムンなどの精霊が宿るといわれています。



## 自然環境に関する地域の取り組みの紹介

### 「ウミガメで元気に！～伊仙町面縄・古里集落の取り組み～」



面縄・古里集落は伊仙町の東側、湾岸地域にあり、集落の目前には白い砂浜が広がっています。この浜では昔からウミガメの産卵が行われており、住民はその様子を当然のように眺めて生活をしていたといえます。

2013 年の「全島ウミガメ頭数調査」をきっかけに、ウミガメの産卵や脱出を観察する機会が増え、昨年は多くのウミガメの上陸産卵が確認されました。集落住民もウミガメが産卵しやすい環境を残したいと、ビーチクリーンを自主的に行うようになりました。

また、海岸の一部に、今は使われなくなった海藻を養殖するための鉄杭が数百本建てられており、その棒がウミガメの上陸を妨げていると住民からの報告がありました。7月13日の日曜日、町内外から集まった120名のボランティアによって鉄杭の撤去作業が行われました。撤去作業後には「ウミガメによって住民が元気になり、足元を見直すきっかけになった」と面縄・古里集落の方々からのお話がありました。

現在、面縄・古里集落の浜は、「ウミガメのたくさん上がる浜」として、伊仙町の誇りとなっており、今後もこの素晴らしい自然を守り続けて行きたいと思います。

(伊仙町 企画課)



撤去作業



ウミガメの足跡





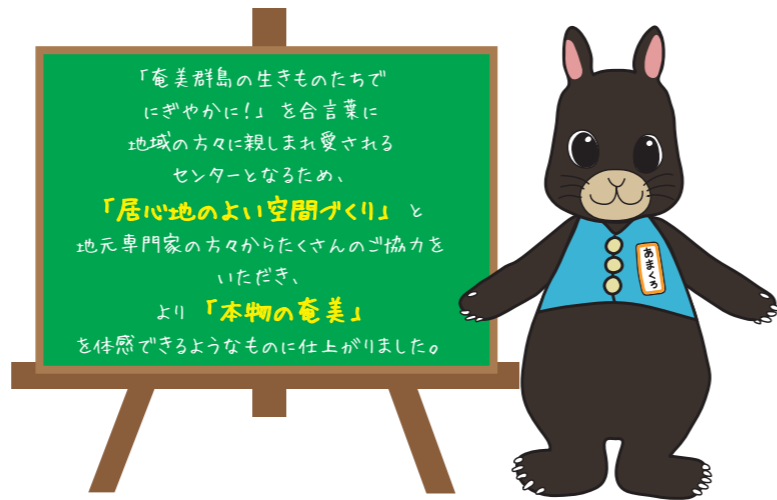
# 奄美野生生物保護センター リニューアル記念特集！！



奄美野生生物保護センターは2000年に開所し、14年目の開所記念日にあたる2014年4月29日に展示などをリニューアルしました！リニューアルしたその全貌をご紹介します！みなさまのご来館をお待ちしております。



外壁も白から茶色に大変身しました！



職員が見つけた生きもの情報が掲示されています。



動植物についての詳しい情報をこのタッチパネル式パソコンで調べることができます。とても貴重な写真と動画もたくさん入っています。



剥製と各種説明ノートには、その生きものの特徴を表したユニークなキャッチフレーズが書かれています。生きものについて楽しく学ぶために、職員が夜な夜な考えました！注目してみてください。



希少な植物を展示しています。



センターで行っている調査とその最新のデータを見ることができます。



「居心地のよい空間づくり」として、琉球畳が入った図書コーナーと飲食が可能なウッドデッキが設置されました。図書コーナーでは生きもの関係の本から民俗、写真集などさまざまな分野の本が3千冊ほどあります。本を読み、山を眺めながらウッドデッキで一息つく…のんびり、ゆっくりと過ごすことができる空間です。本を読みに来るだけでも大歓迎です！



里・川・海の水槽展示です。今では見ることが少なくなった、ゲンゴロウやメダカを展示しています。







## 奄美自然ふれあい行事 実施報告

毎年、夏休みに小中学生を対象に  
実施しています。

### ① 自然カメラマンになろう！

とき：平成26年7月28日（月）  
場所：奄美市住用町役勝川  
カメラを使った自然観察会を実施しました。カ  
メラを使うことにより、よりじっくりと生きも  
のや風景を観察してもらいました。

### ② 手羽先を食べて骨格標本を作ろう！

とき：平成26年8月4日（月）  
場所：奄美野生生物保護センター  
身近な鶏の手羽先を使って、骨格標本作りに挑  
戦しながら、骨の構造をじっくり観察して体の  
つくりを学んでもらいました。

### ③ このフン、だれの？

とき：平成26年8月11日（月）  
場所：奄美野生生物保護センター  
イノシシやマングースなどのフンを分析するこ  
とにより、生きものの食生活、生態系について  
学んでもらいました。

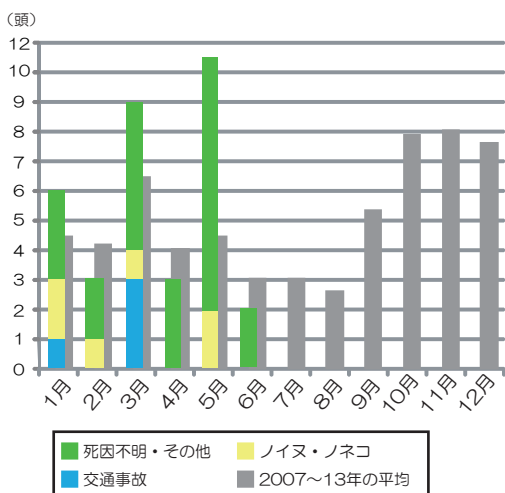


## アマミノクロウサギ死体確認数



## 奄美に住む動物たちのために、あなたができること

(2014年 アマミノクロウサギの死体確認数と死因)



※アマミノクロウサギがケガをしていたり、死んでいるのを発見したら奄美野生生物保護センターまで連絡して下さい。

### 安全運転

特に夜間の林道ではゆっくり走行しましょう。

### 犬・ねこの適正飼育

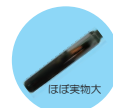
野生化した犬・ねこは、アマミノクロウサギをはじめとした「奄美の森の宝」を食べてしまうこともあります。

#### 🚫 捨てない

最後まで責任をもって飼いましょう。

#### 🚫 マイクロチップ

ペットの確実な身元証明になります。



#### 🚫 避妊・去勢手術

繁殖制限することで、望まれない命を生み出さないことと、ペットの健康を守ることにあります。

#### 🚫 放し飼いをしない

ねこは室内飼育、犬は室内もしくはリードをつけて外で飼いましょう。

### 🐾 犬・ねこに関するお知らせ 🐾

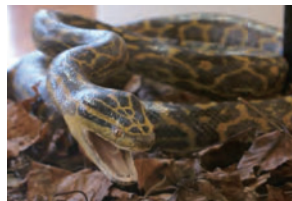
野生生物の保護及び飼い犬・飼い猫の適正飼育を推進するため、飼い犬・飼い猫へのマイクロチップの装着支援を今年度も行っています。用意したマイクロチップは200本で、なくなり次第終了となります。動物病院で無料で行っていますので是非ご利用下さい。※奄美大島と徳之島だけで行っています。

## いきものおもしろ写真館



白足袋のクロウサギ  
クロウサギの中で、たまに足先が白い白足袋をはいたような個体があります。また、白足袋の個体は奄美大島より徳之島で多く確認されています。個体数は奄美大島が断然多いので、徳之島の白足袋率はかなり高いと思われます。

## 編集後記



ハブの季節となりました。ハブの咬傷事故が続いたり、センターの目の前でも目撃があったりと戦々恐々としています。実はリニューアルで新しく展示しているハブの剥製もセンターの目の前で捕獲されたものです。みなさま、草むらには十分に注意しましょう。